大会名称: **第73回国民体育大会　バスケットボール競技会**
（福井しあわせ元気国体2018　バスケットボール競技会）

開催場所: **福井県営体育館　Eコート**

試合区分: **No. 11　少年男子　1回戦**

期　　日: **2018(H30)年10月1日（月）**

開始時間: **13:30**

終了時間: **15:00**

主審: **丸山　大（新潟県）**

副審: **高崎　駿（福井県）**

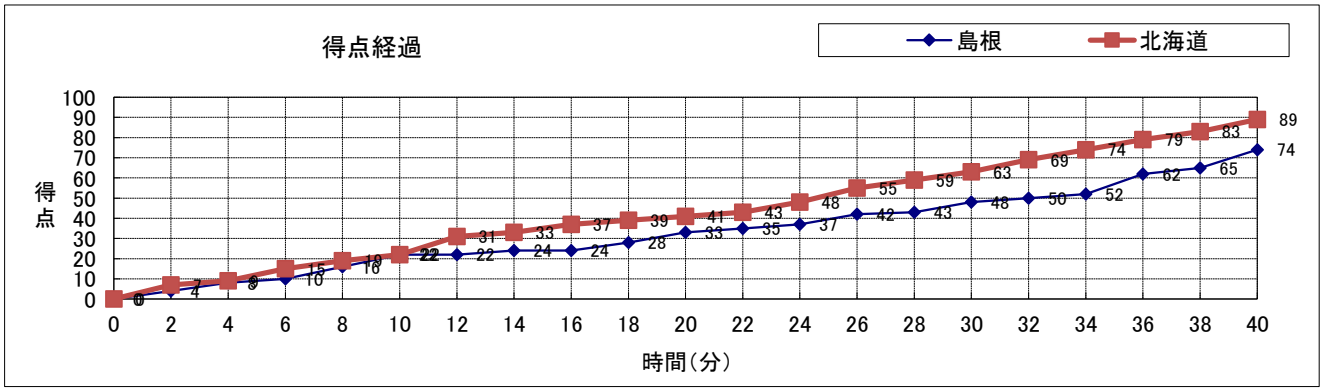
北海道	○ 89	22 — 22 19 — 11 22 — 15 26 — 26 — — —	● 74	島根
（北海道）				（中国）

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	越後 元貴	9	1	3	0	0	8	2
5	*	島谷 怜	18	0	4	10	1	10	7
6	*	原田 一真	19	3	4	2	2	3	1
7		仲澤 太一	9	0	3	3	2	6	0
8		篠澤 祐麻	3	0	1	1	2	4	1
9		斉藤 幹大	2	0	1	0	0	3	0
10		前野 幹太	8	0	3	2	3	1	0
11		会田 裕哉	0	0	0	0	0	2	0
12	*	杉澤 ロメオ	10	0	4	2	0	6	4
13	*	佐藤 武	10	0	3	4	0	3	0
14		佐藤 建太	1	0	0	1	0	0	0
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
0		0	–	–	–	–	–	–	–
HC		佐々木 睦己 / TEAM							
		合計	89	4	26	25	10	46	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		小川 歩人	11	1	3	2	4	3	1
5	*	郷原 隼人	15	0	7	1	1	8	2
6	*	河原 晴大	2	0	1	0	2	0	2
7		石橋 夏樹	8	2	1	0	4	3	2
8		松本 愛翔	8	2	1	0	2	4	0
9	*	福田 大輝	6	0	2	2	3	4	2
10		蒲生 大智	6	2	0	0	0	0	0
11	*	和田守 悠人	7	0	3	1	2	9	1
12		小笠原 晃生	2	0	1	0	2	3	0
13	*	星野 凌太	9	1	3	0	3	4	1
14		岩田 健太郎	0	0	0	0	0	0	0
HC		佐藤 剛 / TEAM							
		合計	74	8	22	6	23	38	11

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール　RB: リバウンド　AS: アシスト

第1ピリオド、島根県3－2ゾーンディフェンス、北海道マンツーマンディフェンスでスタート。島根県は序盤ゾーンから速攻などで得点。北海道は、＃6の連続3Pなどで得点を重ねる。残り4分、北海道はオールコートディフェンスを展開。13－18とリードする。島根県は、残り20秒、＃7の3Pで22－22と同点に追いつき終了する。
第2ピリオド、北海道は堅いディフェンスから速い展開で＃6、＃7が得点を重ね24－37とリードを広げる。島根県はドライブインを試みるが、なかなか得点できない。28－41となったところで島根県タイムアウト。島根県＃4がドライブインでバスケットカウント、フリースローを決め33－41。8点差で前半終了。
第3ピリオド、島根県が堅実なディフェンスから速攻を決めるが、北海道もオールコートでのディフェンスを弱めず、＃6、＃4の3Pで得点を重ね48－63。北海道リードで第3ピリオドを終了する。
第4ピリオド、島根県もマンツーマンに切り替え、両チームともタイトなディフェンスが続く。北海道はオールコートマンツーマンから65－81とリードを広げるが、島根県は終盤、果敢なディフェンスから＃10、＃8が3連続3Pを決めるが、北海道が74－88で勝利した。敗れはしたものの、最後まで気迫の守りと諦めない攻撃を繰り返した島根県に賞賛の拍手を送りたい。

担当者: 小林 浩樹（（一社）福井県バスケットボール協会）

（公財）日本体育協会、（公財）日本バスケットボール協会、（一社）福井県バスケットボール協会